

夏の星座

夏の夜に空を見上げると満天の星が!

夏の星座について、君津亀山青少年自然の家のスタッフさんに聞いてみました。
流れ星に願いを込めたり、自分の星座を見つけたり…素敵な夜をお過ごしください。

★ Vol.1

夏の夜空は天の川が最も美しい季節!! 夏の代表的な星座(はくちょう座・さそり座・いて座・こと座・わし座)

～天の川・銀河とは～

8月、21時頃、南の空を見てみると、白く雲のようにぼんやり見えるものがあります。これが「天の川」です。

地球から星空を見ると、銀河の中央方向の星が多く集まっているところが、白く輝く雲のように見えます。

それが川のように見えることから「天の川」と呼んでいます。これは、「天の川銀河」と呼ばれています。

この天の川銀河は2億数千年かけて1周します。この中にはいくつもの小宇宙があり、その1つ1つに何十億もの星があります。

[情報提供] 千葉県立君津亀山青少年自然の家 君津市笹字片倉1661-1 TEL:0439-39-2628

ペルセウス座流星群 【日程】8月11日(水)～14日(土) ※特に8月12日(木)・13日(金)がおすすめ!

毎年お盆シーズンに出現のピークを迎える、ペルセウス座流星群。今年は8月8日が新月のため、ピークの期間は月の影響がほとんどありません。天気さえ良ければ、21時頃から流星が出現するようになり、明け方に近づくほど多くの流れ星が見られる予想です。

▶次回は、夏の星座「さそり座」を紹介します。

～夏の星座の1等星～

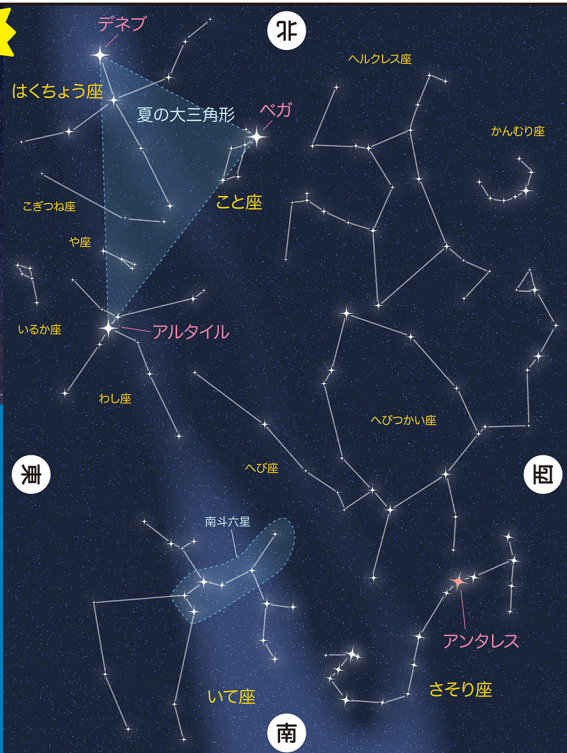
夏の1等星は、アンタレス、ベガ、アルタイル、デネブの4つが代表的です。これらの1等星を、天の川を中心に探してみましょう。

8月、21時頃、南東の空を見ると、天の川をはさんで、輝く星があります。これが「ベガ」と「アルタイル」です。

さらに、この2つの1等星の間を流れる天の川を少し北に目を移すと「デネブ」が見つかります。

そして、そのデネブから天の川に沿って南の空に目を移していくと、「アンタレス」が見つかります。

このように天の川を中心に星空を見ていくと1等星を見つけられます。



※右記のイラストと実際の空では見え方に違いがある場合があります。